



タイのこと…聞いてみタイ？

タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)



タイ人の名前って、なんであんなに長い？

以前、ニュースレター（2024年9月号）に本名の他にほとんどのタイ人がニックネームを持っていると話しました。続編といいますか、今回は本名について話したいと思います。

私の本名が知らない人は、このニュースレターの一番上の部分を見てみてください。かっこの中にカタカナが16字も並んでいる長～い部分です。私の本名は「ラタナウィモンチャイ チャヤンクン」で、苗字が「ラタナウィモンチャイ」、名前が「チャヤンクン」です。タイ人じゃない人によく言われているのが、「タイ人の名前って長いね」「みんなはお互いの名前を覚えているの？」などです。私の場合、家族や親戚はもちろんのこと、大学の友達の本名（苗字 + 名前）も覚えています。以前のニュースレターに書いたように、家族や友達に限らず、ビジネスの場面でもニックネームで呼び合うことが多いので、名前が長くてもあまり問題になりませんでした。もし日本みたいに苗字で呼び合う文化があったら、言うのも、覚えるのも大変そうです。それでは、なぜ長い？といえば、少し時を遡って行きましょう。

100年ほど前までタイ人の名前は短く、大体一音節か、長くとも二音節ぐらいでした。例えば、「มาก(マーク) อัม(アム) ตวง(ドウアン) เือง(トゥアン) ดำ(ダム) อิน(イン) มา(マー) ทองเอก(トン・エーク) ทองดี(トン・ディー)」。中に特に意味もない単語もありました。これより長い名前は王様と貴族、または、仕官する人たちしかいなかったです。仕官の場合は、名前というより、肩書のようなものでした。肩書を与えられても、正式な場面以外は元々の名前を使うから、これが後々タイ人のニックネーム文化の始まりだと私が思っています。

มาก แดง
ตวง ปริก
ดำ ทองดี

その頃、苗字はまだ誰も持っていなかったから、同じ名前を持っている人がたくさんいました。当時は区別できるように、「マーク、インの子」、名前の後ろに親の名前を付けたらしいです。

タイ人が苗字を持つようになったのは、国勢管理を含め、個人を区別できるように、1913年（大正2年）に当時のラマ第6世王様による苗字法が出されました。王様自身が貴族にそれぞれの苗字を与え、さらに、6,439個の苗字を例として作りました。それ以外は、与えられた苗字と同じでなければ、自分たちでつけることができます。苗字を付ける方法はいろいろありますが、例えば

- 先祖の名前
- 住んでいる地名
- 与えた肩書の一部
- なんでもいいから考えてくれと役所の職員にお願いした人もいたようです。みんなが読み書きできる時代ではなかったからです。

「苗字は、元々のタイ人なら短い。中華系なら長い。」ともよく言われています。すべてがそうとは限りませんが、だいたいの場合はかなり当てはまります。その理由は、苗字法が出たとき、タイに住み着いた外国人、つまり、タイ人になった外国人も対象となります。中国から来た人は元々「姓」を持っているため、新しく作る必要はなく、そのまま使えました。ただし、それが苗字であることを指定するため、タイ語で書く「姓 姓」という言葉をそれぞれの姓の前に付けることが多いです。

例えば、

ลิม (林 リム) → แซ่ลิม (姓林 セーリム)
 ตัง (陳 タン) → แซ่ตัง (姓陳 セータン)
 เป้ (馬 ベー) → แซ่เป้ (姓馬 セーベー)

小学時代、このような苗字を使っている友達は何人かいました。最近はあまり見かけなくなりましたが、自分の推理では、このような苗字はちょっとダサく聞こえるから、苗字を変えることにしたのではないかと思います。

でも、なぜ長いのか？それは、せっかく新しく作ったから、いい意味があるといっそうよいでしょう。それでみんながいい意味を持つ言葉を組み合わせて、苗字がだんだん長くなってしまいました。私の苗字を見てみましょう。

รัตนาวิมลชัย (ラ・タ・ナ・ウィ・モン・チャイ)

รัตนา	ラタナ	=	宝石
วิมล	ウィモン	=	完璧、純粋
ชัย	チャイ	=	勝利

それぞれこのような意味を持っています。父方のおじいさんがお寺のお坊さんをお願いして作ってもらったそうです。

ちょっと調べましたが、日本の場合は、苗字や名前を変更するのに、簡単にはできなく、不可に近いくらいかなり大変らしいです。変更する理由を見つけ、家庭裁判所に申し出をしないといけないそうです。タイの場合は、市役所で申請すればすぐできます。私は苗字を変えたことはありませんが、名前を変えたことがあります。本当にすぐできてしまいました。変更理由などはそれほど厳しく聞かれませんが、新しい苗字・名前に禁止事項がちょっとあります。例えば、

- 王様・女王様の名前に近いまたは同じもの
- 失礼な意味を持つもの
- 王様が与えたもの、または、既に使われた苗字
- 子音が 11 個以上 など

私は高校までは「チャヤンクン」ではなく、「ラチャヴット」でした。改名した理由は、その名前に入っている「ヴット」という単語がダサくて、そして、親ではなく、親戚が考えた名前なので、親の了承で「チャヤンクン」に変えました。ちなみに、意味は以下です。

ชัย (ชัย)	ชายา (チャイ)	=	勝利
อังกร	อันกุน	=	子孫

「チャヤ」の最後の「ヤ」と
「アングン」の最初の「ア」を合体し、
「チャヤンクン」になりました。

実は日本人の苗字について私が持っていた疑問の一つが地名との繋がりでした。日本に留学しに来た時、同じ寮に住んでいる日本人の一人が川崎さんと言います。先祖が神奈川県の川崎市から来たから、名前が「川崎」だと思ってました。聞いてみたら、青森県から来たそうで、川崎とはまったく関係ありませんでした。そうなると、福島さんも宮崎さんも、名前が県名と同じだからといって、そこから来たとは限らないことを確信しました。私と同じように思った外国人がいるはずですよ (たぶん)。



日本では、同姓同名の人がたまに何十人もいるとニュースを見ました。タイでは、インターネットや電算化がまだなかった 40 ~ 50 年前まではいたりしましたが、今は全国のデータが共有されているため、名前は同じでも、苗字は絶対に違います。母方のおじさんと同姓同名の人が逮捕されたというニュースが出て、大騒ぎになったことが母から聞いたことがあります。

ちなみに、私が一番かっこいい日本人の苗字が「五十嵐」です。日本留学中に同じ寮に住んでいた人で、初めて見た時は「ごじゅうあらし？」と読むのかなと思いきや、調べたら「いがらし」でした。「いがらし」の響きもそうですが、「五十の嵐」という漢字の模写もかっこいいです。ないとは思いますが、苗字を変えられるとしたら、ぜひ「五十嵐」にしたいです (笑)。みんなさんはかっこいいと思う苗字、または、名前がありますか？